

Ⅱ 公一2 (緑の募金事業)

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念である「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりと緑づくりの大切さの普及啓発に努めました。

また、4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、5月4日緑の日には長野駅前等での街頭募金や広報活動を行うなど緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めるとともに緑の募金活動を積極的に展開しました。

県民各位からの緑の募金への寄附金は、円高等厳しい経済状況など募金推進の環境の大変厳しい状況が続く中、各地区緑化推進団体や市町村をはじめ多くの関係者の絶大なる御協力と県民各位の御理解をいただきましたが、募金総額8,129万円余(対前年比98.7%)と前年をやや下回る結果となりました。

(詳細は別紙1のとおり)

「地区事業」を通じて、地区緑化推進団体が各地区の実情に応じながら主体性を持って実施しました。

「緑の募金による公募事業」を通じて森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的な活動を支援しました。

次代を担うみどりの少年団が行う森林・環境緑化等に関する学習実践活動に対して長野県みどりの少年団連盟を通じて支援しました。

長野県北部地震により甚大な被害を受けた下水内郡栄村において、昨年度に引き続き、被災された村民を支援するため、復興祈念植樹を行いました。

(詳細は別紙2のとおり)

1 緑の募金活動

(1) 緑化推進の啓発宣伝

ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、テレビ等によるPRを「緑化推進特別強調月間」(4月1日～5月31日)中に、「ひろげよう 大地うるおす 植樹の輪」を国土緑化運動標語にして行った。

- ・ 新聞広告掲載 4月1日他 6社掲載(信濃毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、中日新聞、産経新聞)
- ・ ラジオCM FM長野 28回放送(3/31～4/13)
- ・ 街頭募金 5月4日(みどりの日)
- ・ 着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ着胸を促進した。

イ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰

弱や病害虫等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を日本樹木医会県支部、県造園建設業協会に委託して実施した。

- ・ 相談件数 18件

(2) 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、家庭募金用封筒等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシの作成等を行った。

(3) 募金活動の推進

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、家庭募金、職場募金等を行った。特に5月4日のみどりの日には、須坂園芸高校など北信地区の3高校生生徒等の協力を得て、JR長野駅前などで街頭募金を行った。

また、平成26年募金活動の円滑な推進・適正化を図るため、地区緑化推進団体との合同会議を12月20日長野市内において開催し、活動展開方針等について協議した。

2 公募事業の実施

特定非営利活動法人など募集要件を満たす団体が自発的に地域や社会ニーズに基づいた環境緑化、森林の整備、木材の利活用及び野生動物との共生など公益的な活動を展開することを促進するため、「緑の募金」を活用した公募事業を募集したところ、26団体から26件の応募があった。

運営協議会等で審査を行った結果、1事業につき183千円を限度に25団体に総額4,200千円を助成した。

(詳細は別紙3のとおり)

3 緑化の推進等

(1) 森林の整備

森林整備に対する県民の意識の向上と理解を深めるため、森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して交付金を交付し、下刈、枝打ち、除間伐など実施した。

- ・ 実施箇所 34箇所、整備面積 74ha

(2) 森林整備講演会・研修会等の開催

ア 森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係わる森林の役割等を周知するために各地区で行われた講演会・研修会の開催に要する会場使用料、資料代、資材購入、講師

謝金、傷害保険等の経費及び山火事防止の広報活動、松くい虫被害対策活動等に交付金を交付した。

- ・ 実施箇所 16箇所、 参加人員 1,581人

イ 森林教室の開催

森林・林業に関する知識を普及啓発するため、県植樹祭に併せ、佐久市平尾の森において、長野県森林インストラクター会の協力を得て「春の森林教室」を開催した。

参加者を公募したところ、東信、南信、中信、北信各地区より116名の参加があり、4台のバスを運行した。参加者には、植樹活動、自然観察会、山の手入れ方法・森の状況説明等の体験を通じ、好評のうちに森林・林業への理解を深めることができた。

ウ 森林環境教育指導者研修会

子どもたちが自然に親しみつつ森林の重要性などについて体験を通じて学べるよう、教育指導者である教職員（本年度は中信地域20人）を対象に、救急法、森林環境教育等に関する研修会を10月25日に塩尻市の林業総合センターで実施した。

(3) 公園等公共施設の緑化

ア 学校緑化

学校校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木や作業用具購入、指導者謝金等の経費に交付金を交付した。

- ・ 実施校 35校 苗木本数 1,058本（ドウダンツツジ、アズキ他）
下刈、除伐等 1ha

イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費に交付金を交付した。

- ・ 実施箇所 265箇所、 苗木本数 12,910本（ミツバツツジ、サツキ、
ドウダンツツジ、ヤマボウシ、ミズナラ他）

(4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に対する関心を高めるため、県下各地で開催される緑化木頒布会等の苗木等購入経費に交付金を交付した。

- 実施箇所 396箇所、 配布本数 45,798本（ドウダンツツジ、サツキ、ヤマザクラ、ナナカマド、ブルーベリー、

アメリカハナミズキ、モクレン他)

(5) 植樹・育樹祭等行事

森林づくりに対する意識や緑を守り育てる緑化意識の高揚に努め、積極的に緑づくりへの参加を促進するため、地区緑化推進団体や、市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催に必要な経費に交付金を交付した。

- ・ 実施箇所 33箇所、 植樹本数 19,732本(カラマツ、サワラ、ヒノキ、ナナカマド、ミズナラ、コナラ、エノキ、ニシキギ他)
育樹面積 16ha

(6) コンクール・講演・研修会等の開催

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等が県下8会場で開催され、それに係わる経費に交付金を交付した。

4 みどりの少年団の育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かな健康で明るいこども達に育むため、県下174のみどりの少年団が実施した森林・環境緑化等の学習実践活動に対し、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに地区事業として実施した少年団の実践活動に対して交付金を交付した。

また、少年団活動の一層の活性化を図るため、県下の少年団の代表の参加のもと長野県みどりの少年団交流集會を長野県みどりの少年団連盟と共催実施した。

- ・ 長野県みどりの少年団交流集會(長野市青少年錬成センター)
8月7~8日 参加者 19団 84名(引率者含)